

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【公開番号】特開 2005-65279 (P2005-65279A)
 【公開日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-010
 【出願番号】特願 2004-233500 (P2004-233500)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 29/42 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 C

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/42 F

G 0 6 F 3/12 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 16 日 (2007.2.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 以上のユーザインタフェースのカスタマイズ方法であって、

前記 1 以上のユーザインタフェースの所望の表示及び動作を規定するユーザインタフェース仕様データを 1 以上の複合機に送信するステップと、

前記ユーザインタフェース仕様データを反映させるため、前記 1 以上のユーザインタフェースのそれぞれを更新する時間を示す開始時間を規定するスケジューリングデータを維持するステップとから構成され、前記 1 以上のユーザインタフェースのそれぞれが前記 1 以上の複合機の 1 つに表示されることを特徴とする方法。

【請求項 2】

請求項 1 記載のカスタマイズ方法であって、前記ユーザインタフェース仕様データは無線装置から送信されることを特徴とする方法。

【請求項 3】

請求項 1 記載のカスタマイズ方法であって、前記ユーザインタフェース仕様データはソース複合機から送信されることを特徴とする方法。

【請求項 4】

請求項 1 記載のカスタマイズ方法であって、前記スケジューリングデータはユーザから送られる入力に応答して生成されることを特徴とする方法。

【請求項 5】

請求項 1 記載のカスタマイズ方法であって、さらに、

前記スケジューリングデータを前記 1 以上の複合機に送信するステップと、

前記 1 以上の複合機の中のある複合機において現在時間を決定するステップと、

前記ある複合機において、前記現在時間が前記開始時間と少なくとも同程度最近のものである場合、前記ユーザインタフェース仕様データを反映させるため前記ある複合機に表

示されるユーザインタフェースを更新するステップとを備えることを特徴とする方法。

【請求項 6】

請求項 1 記載のカスタマイズ方法であって、さらに、

前記スケジューリングデータを前記 1 以上の複合機に送信するステップと、

前記 1 以上の複合機の中のある複合機において現在時間を決定するステップと、

前記ある複合機において、前記現在時間が前記スケジューリングデータに規定される終了時間と少なくとも同程度最近のものである場合、前記ユーザインタフェース仕様データを反映させることを止めるため、前記ある複合機に表示されるユーザインタフェースを更新するステップとを備え、前記終了時間は前記ユーザインタフェース仕様データを反映させることを止めるための前記 1 以上のユーザインタフェースのそれぞれを更新する時点を示すことを特徴とする方法。

【請求項 7】

請求項 6 記載のカスタマイズ方法であって、さらに、

前記ユーザインタフェース仕様データを反映させることを止めるための前記ある複合機に表示されるユーザインタフェースの更新後、前記ある複合機に表示される前記ユーザインタフェースの表示及び動作を前記ユーザインタフェースの以前のタイプに再構成するステップを備えることを特徴とする方法。

【請求項 8】

請求項 1 記載のカスタマイズ方法であって、前記ユーザインタフェース仕様データは前記開始時間の生起と同時に前記 1 以上の複合機に送信されることを特徴とする方法。

【請求項 9】

請求項 1 記載のカスタマイズ方法であって、さらに、

現在時間を決定するステップと、

前記現在時間が前記スケジューリングデータに規定される終了時間と少なくとも同程度最近のものである場合、前記 1 以上の複合機に表示される前記 1 以上のユーザインタフェースに前記ユーザインタフェース仕様データを反映させることを止めさせるステップとを備えることを特徴とする方法。

【請求項 10】

請求項 9 記載のカスタマイズ方法であって、さらに、

前記 1 以上のユーザインタフェースが前記ユーザインタフェース仕様データを反映させることを止めた後、前記ユーザインタフェースの表示及び動作を以前のタイプに再構成するステップを備えることを特徴とする方法。

【請求項 11】

請求項 1 記載のカスタマイズ方法であって、さらに、

前記ユーザインタフェース仕様データを前記 1 以上のユーザインタフェースに適用する利用回数を規定する利用制限データを送信するステップを備えることを特徴とする方法。

【請求項 12】

1 以上のユーザインタフェースのカスタマイズ方法であって、

前記 1 以上のユーザインタフェースの所望の表示及び動作を規定するユーザインタフェース仕様データを 1 以上の複合機に送信するステップと、

前記ユーザインタフェース仕様データを前記 1 以上の複合機の前記 1 以上のユーザインタフェースに適用する利用回数を規定する利用制限データを送信するステップとから構成され、前記 1 以上のユーザインタフェースのそれぞれが前記 1 以上の複合機の 1 つに表示されることを特徴とする方法。

【請求項 13】

請求項 12 記載のカスタマイズ方法であって、前記ユーザインタフェース仕様データと前記利用制限データは無線装置から送信されることを特徴とする方法。

【請求項 14】

請求項 12 記載のカスタマイズ方法であって、前記ユーザインタフェース仕様データと前記利用制限データはソース複合機から送信されることを特徴とする方法。

【請求項 15】

請求項 12 記載のカスタマイズ方法であって、前記利用制限データはユーザから送られる入力に応答して、送信前に無線装置において生成されることを特徴とする方法。

【請求項 16】

請求項 12 記載のカスタマイズ方法であって、さらに、

前記 1 以上の複合機において、前記ユーザインタフェース仕様データの処理に응答して、前記 1 以上のユーザインタフェースを第 1 タイプから第 2 タイプに更新するステップを備え、前記第 1 タイプは前記 1 以上のユーザインタフェースのそれぞれに対して異なり、前記第 2 タイプは前記ユーザインタフェース仕様データを反映させることを特徴とする方法。

【請求項 17】

請求項 16 記載のカスタマイズ方法であって、さらに、

前記 1 以上の複合機の中のある複合機において、前記ある複合機に表示されるユーザインタフェースが最後に更新されてからの該ユーザインタフェースに関連付けされた利用回数を決定するステップを備えることを特徴とする方法。

【請求項 18】

請求項 17 記載のカスタマイズ方法であって、さらに、

前記ある複合機において、前記最後の更新からの前記ある複合機に表示されるユーザインタフェースに関連付けされた利用回数が前記利用制限データに特定される閾値を超える場合、前記ある複合機に表示されるユーザインタフェースを該ユーザインタフェースと関連付けされた第 1 タイプに戻すステップを備えることを特徴とする方法。

【請求項 19】

請求項 12 記載のカスタマイズ方法であって、前記利用制限データはさらに、特定のユーザに対して前記ユーザインタフェース仕様データを前記 1 以上のユーザインタフェースに適用する利用回数を規定することを特徴とする方法。

【請求項 20】

請求項 12 記載のカスタマイズ方法であって、さらに、

前記ユーザインタフェース仕様データを反映させるため、前記 1 以上のユーザインタフェースのそれぞれを更新する時間を示す開始時間を規定するスケジューリングデータを送信するステップを備えることを特徴とする方法。

【請求項 21】

1 以上のユーザインタフェースのカスタマイズ装置であって、

前記 1 以上のユーザインタフェースの所望の表示及び動作を規定するユーザインタフェース仕様データを 1 以上の複合機に送信する手段と、

前記ユーザインタフェース仕様データを反映させるため、前記 1 以上のユーザインタフェースのそれぞれを更新する時間を示す開始時間を規定するスケジューリングデータを維持する手段とから構成され、前記 1 以上のユーザインタフェースのそれぞれが前記 1 以上の複合機の 1 つに表示されることを特徴とする装置。

【請求項 22】

1 以上のユーザインタフェースのカスタマイズ装置であって、

前記 1 以上のユーザインタフェースの所望の表示及び動作を規定するユーザインタフェース仕様データを 1 以上の複合機に送信する手段と、

前記ユーザインタフェース仕様データを前記 1 以上の複合機の前記 1 以上のユーザインタフェースに適用する利用回数を規定する利用制限データを送信する手段とから構成され、前記 1 以上のユーザインタフェースのそれぞれが前記 1 以上の複合機の 1 つに表示されることを特徴とする装置。